

①管理栄養士が薬局で商品販売する時にいかせることは??

薬局には情報があるため、商品を見ている人に声かけをしてあなたにはこれがおすすめ、と情報提供できる→  
売上に貢献することで薬局栄養士の存在意義を...

②YER今後の方向性

・管理栄養士がどこにいるか見える化できていない問題は数年間ずっと大きな変化はなく  
課題や要素が混在していて何から解決していけばいいかわからない

- ・これからは薬局にいったら栄養指導ができるよっていう時代になってくる（唾液検査・検体等で受診勧奨）
- ・むしろそういう流れを当たり前にする（薬局の作業手順の1つに組み込む）
- ・検査値が一定以上だったら栄養士につなぐ、特定の薬使ったら栄養士につなぐ等
- ・次世代薬局に向けて管理栄養士としてのアクションしたい

○体組成計を利用した栄養相談

YERに参加する管理栄養士の共通の項目として店舗に体組成計がある。せっかくあるから活かせるかな  
→いくつかの項目をピックアップしてエビデンスや処方箋UP、受診勧奨などの成果などに繋がるかも

- ・経時的に追えるといいよね、エクセルで作っちゃいましょうか
- ・毛細血管でコレステロール値を見る（日生薬局—健康フェアで）
- ・薬局での検体測定室の設置は厚労省からも言われている
- ・握力測定（様々なものに相関あるし、患者さんも楽しく測れていいかも）

次回内容：体組成計結果用紙案（項目・仕組みづくりどうしていくか）

次回 2月18日（月） 19:30～